

各 位

平成18年7月27日
近畿日本ツーリスト株式会社
総務・広報部 担当：佐藤
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成18年6月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体、学生団体が共に取り扱い好調で前年実績を大きく上回り、団体旅行合計は前月に続いての大幅な前年比プラス。企画旅行は、ホリデイが堅調に推移したため前月に続いて前年実績を超えた。個人旅行も好調に推移し、大きく前年実績を上回り3ヶ月連続の前年比プラスとなった。

海外旅行合計は、団体旅行、企画旅行、個人旅行の全てで前年実績を上回ったため、前年比116.4%と好調であった。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では学生団体は取り扱いが増加し前年比プラスとなったが、一般団体が前年愛知万博の取り扱いの反動もあって大幅な前年比マイナスとなったため、団体旅行合計は前年実績を大きく下回った。企画旅行は、販売構成比の高いメイトの取り扱いが鈍化したため2ヶ月ぶりの前年比マイナス。個人旅行の取り扱いでは、航空券は好調で前年実績を大きく上回ったが、JR券、宿泊券の取り扱い低調により個人旅行合計は前年実績に届かなかった。

国内旅行合計は、団体旅行の不振、企画旅行、個人旅行の伸び悩みによって、前年比92.3%と前年実績を下回る結果に終わった。

外人旅行は、前年愛知万博の取り扱いの反動の影響が大きく、前年比75.4%と4ヶ月連続の前年比マイナス。

6月の総取扱額は、国内旅行は低迷したが、海外旅行の好調により、前年比100.7%と、前月に続いての前年比プラスとなった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数の増加、大型団体の急増と好調で、大きく前年実績を超えた。学生団体も海外修学旅行の取り扱いが好調で大幅に前年実績を上回った。方面別の取扱いは、中国、香港、タイ（前年地震の反動）、シンガポール、マレーシアのアジアが好調であった。

(2) 企画旅行

ホリデイは、取り扱い堅調で、取扱額前年比で105%、取扱人数前年比で107%と共に前月に続いての前年比プラス。方面別取扱いは、中国、韓国、台湾、香港、およびシンガポール、タイ（前年地震の反動）のアジア地区の好調が目立った。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係以外の団体取扱いは増加したが、イベント関係の前年愛知万博取り扱いの反動が大きく、3ヶ月連続での前年比マイナスと低迷している。学生団体は、修学旅行、修学旅行外の取り扱いが共に堅調で、7ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

(2) 企画旅行

メイトは、取り扱いが伸び悩み取扱額前年比で95%と2ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。商品別の状況をみると、北海道、沖縄方面、および関西地区商品の取扱いは好調であったが、九州方面、近場の宿泊商品が伸び悩んだ。

（以 上）